



第2660地区



WEEKLY REPORT

大阪船場ロータリークラブ

OSAKA SEMBA ROTARY CLUB JAPAN

創 立 昭和63年(1988)5月23日

事務所 大阪市中央区西心斎橋 1-7-3 (〒542-0086) 北炭屋町ビル
Tel. (06)6244-1008 Fax. (06)6244-1010

Web: <http://sembarotary.club/> E-mail: semba@cocoa.ocn.ne.jp

例 会 毎週月曜日・12時30分

ホテル日航大阪 Tel. (06)6244-1111

会長: 澤田 宗久 幹事: 岡本 茂 会報広報委員長: 日比 敬史

四つのテスト／言行はこれに照してから

I. 真実かどうか II. みんなに公平か

III. 好意と友情を深めるか IV. みんなの為になるかどうか

第1219回 例会 2015年(平成27年)11月16日

(ロータリー財団月間)

本日のプログラム

(本日のプログレス 藤野 英男 副SAA)

○ ロ-タリ-ソング 「それでこそロータリー」

○ 会長の時間 ◎ 幹事報告 ◎ 委員会報告 ◎ ニコニコ箱報告 ◎ 出席報告

○ フォーラム 「社会奉仕部門」 大阪府赤十字血液センター 献血推進一部 推進課長 森本 実 様

前回(11月9日)例会記録

◇プログレス 藤野 英男 副SAA

・ 峠のわが家

・ 遠き山に日は落ちて

・ 遠い世界に

1. 来客紹介 北野 克己 親睦委員

ゲスト:0名 地区外:0名 地区内:3名 合計:3名

2. 会長の時間 澤田 宗久 会長



先週の例会に、シンガポールRCのメンバーと家族、総勢22名がメイクアップして頂きました。

その後の夜の歓迎会でもお互い姉妹クラブとして、友好を深めて頂き、楽しいひと時を過ごすことができました。これからも、より一層ロータリーの活動を通じて発展して行きたいと思っています。

これも、会員の皆様方のおかげであり、感謝申し上げます。

又、11月7日(土)に、IM7組ロータリーデーがありました、沢山の会員の皆様のご参加、ありがとうございました。

ざいました。

テーマは「ひとりみんなの為に、みんなはひとりの為に」one for all, all for one!です。

基調講演は、NPO法人ロシナンテス理事長の川原尚行先生です。

川原先生は九州大学・医学部卒業から外務省に入り、その後NPO法人を設立。アフリカのスーダンで、長年医療を中心とした支援活動が続けておられます。又、東日本大震災でも宮城県で医療支援を行っています。

講演のテーマ「自分に誇りを持って相手を理解する」本会議のテーマ「真の国際協力とは」であり、大変為になり、興味深く聴かせて頂きました。

これらの内容は我々が行っている、バヌアツとフィリピンでの歯科医療奉仕活動と共通点が随所にあり、奉仕を志し継続することは、同じような道のりを歩むものだなあと、共感致しました。

目の前の困っている人と共に歩み続け、家族の絆と地域の和を大事にし、世界と、日本の子ども達の明日の笑顔の為に、活動を行っています。「自立」と「共助」が道を拓き未来をつくるのであります。

長年に渡り、歯科医療奉仕活動が続けられたことは、皆様方のご理解とご協力により成り立っている事と、深く深く、感謝しています。

これからも、どうか宜しくお願い致します。

3. 幹事報告 岡本 茂 幹事

①2015-2016 年度 IM7 組共同プロジェクトの提案が大阪御堂筋本町 RC から出されています。内容は、「東南海地震に備える防災フォーラム」の開催です。日時は、来年の3月30日(日)のお昼から、場所は大阪国際会議場で、第1部は公開シンポジウム、第2部は、キャリティーコンサートです。各クラブの支援につきましては、シンポジウムへの参加と当日の展示・物販販売の手伝い、また支援金として、1クラブ8万円相当となっています。先日の理事会で当クラブとしても参加、応援を決定しました。また支援金については、会員2千円相当を個人預金から支出いたします。

②第2660地区から、去る9月10日の東日本豪雨災害の義捐金の依頼が来ております。先日の理事会で緊急支援用として会員一人当たり2千円の義捐金を支払うことといたしました。個人預金から支出いたします。ご理解ください。

③本日、第3回目の戦略委員会を開催いたします。構成員は、時間厳守でお願いします。

④上月環(こうづきたまき)さんは、体験例会にお越しになったあと、正式にクラブへの入会の申込みがありました。

先の理事会で承認し、只今は、1週間の公示期間になっています。12月7日の例会からの出席予定です。

ご承知ください。また、日比会員については、先月もご報告しておりますが、この度、9月30日付で正式に退会届が提出され、先の理事会で承認されました。日比さんの今後のご発展をお祈りいたします。

4. ニコニコ箱報告 井澤 武尚 親睦委員

栗原 会員……本日は卓話担当になっています。よろしくお願いします。

澤田 会員……IM7組ロータリーデーに沢山の会員に出席いただきありがとうございました。大変勉強になりました。

斧原 会員……シンガポール姉妹交流会御苦労さまでした。

松永 会員……クリスマスのコーラスの件でお話させていただきます。

伊藤 会員……ドイツのデュッセルドルフで業界の展示会があったために10日間ドイツを旅行してきました。ライン河・モゼル河のワイン畑が黄葉していて、それが感動的でした。

渡辺 会員……休みが多くなりお詫び。

甚田、大嶋、大磯、片岡、宮原、岡本(茂)、北野、杉浦、新川、藤野、今泉、斎藤、沖、清水、

各会員……IM7組 テーマ「真の国際協力とは」にご参加有難うございました。

5. 出席報告 藤野 英男 副SAA

会員総数 38名 出席率計算会員数 38名 出席会員数 27名 出席率 71%

第1215回(10月19日) 修正出席率 100%

6. 卓 話 「一万人の第九について」 栗原 裕 会員



本日、卓話担当の栗原でございます。

そろそろ年末も近づいて参りました。大阪を始めとして全国各地でベートーベンの第九番交響曲通称“第九”が鳴り響く季節となりました。私は小さいころから音楽が好きでボーイソプラノの合唱団で歌っていたのが小学6年の頃だったと思います。その後、合唱から器楽に興味を持ち、オーボエという木管楽器をもって大学のオーケストラ部に入部致しました。卒業後は仕事にあけくれて音楽から遠ざかっていましたが、時は移り1983年にサントリーがスポンサーで“1万人の第九”の合唱が大阪城ホールで開かれるというニュースを知りました。丁度そのころ音楽好きの友人杉浦さんから誘われ、思い切って出演の申し込みをしました。そして、今年の12月6日、私にとって第20回目の連続出場が叶うことになりました。

本番までに申し込みの抽選があり、幸いにして連続出場が叶いました。練習は多人数が同時に出来ないもので、20人のトレーナーが1万人を100人～200人の小グループに分けて本番まで12回の練習を行います。規則は厳しく初心者グループは12回の内、3回以上欠席すると出演の資格を失います。経験者グループは更に厳しく6回の練習中2回休みで失格となります。最近の出場希望者の増加は大変なもので応募者は1万5千人ほどあり、1/3の人は出演できません。音楽監督の佐渡裕氏は世界的に活躍されている有名な指揮者で、我々に対しての指導は本番までに2回しか直接指導はありません。

当日のプログラムは毎年異なり、大きく分けると第一部では若手芸術家を育てるためユニークな人が出演しますし、第二部の第九合唱は1時間10分の演奏の中で我々が歌うのは第4楽章の約15分だけですが、毎回ソリストも楽団員も変わるので新鮮な気持ちで本番に臨めます。言うまでもなく合唱は全てドイツ語であり最初の頃は意味も分からずカタカナの棒読みでしたが、次第に言葉が出るようになり、そして、いよいよ本番となります。前夜のリハーサル約5時間。当日の本番前の最後の練習及び本番・アンコール及び食事時間、休息含めて約9時間拘束されます。服装は、女性は白のブラウスに黒のロングスカート、男性はタキシードに蝶ネクタイの本番衣装で、いやが上にも大阪城ホールは熱気に包まれます。我々が唱っていると一人では成し得ない1万人の声として世界中に響きます。尚、最近では大阪のグループだけではなく東京グループ、広島グループ、仙台災害グループなどが映像を通じて同時放映されますので、現地で歌っている人も一体となって感動していることと思います。演奏が終わっても拍手が鳴り止まず、指揮者ソリスト、トレーナーの先生、すべてが舞台上がり感動を共有します。最後は場内を真っ暗にしてペンライトを揺らしながら“蛍の光”を合唱して全員で今年一年の出来事をそれぞれの胸に喜びを味わいながら幕を閉じるのです。それでは、映像を映します。

今、映像でご覧いただいたように、1人の夢は1万倍となって響き世界中の人々に幸せと喜びを与える事になるでしょう。“1万人の第九”を通じ私は次のことに感謝しています。

1. 20年間妻と共に参加し、共通の楽しみを持てたこと。
2. その間、多くの友達と知り合えたこと。
3. 歌い終わったとき、連続して出演できた健康への感謝。
目標を持つことがプラス思考につながったこと。
4. 達成する喜びを感じられること。

どうか機会があれば皆様も一緒に歌いましょう。

☆☆☆ シンガポール RC 歓迎レセプション ☆☆☆

2015年11月2日(月)

於:ホテル日航大阪 31階「カトレア」 18:30~20:30

11月2日(月)に、当クラブの姉妹クラブであるシンガポールロータリークラブが来日され、例会に出席されました。

また、午後6時30より歓迎レセプションが、同じホテル日航大阪31階「カトレア」で開催されました。

シンガポールRCからは22名の参加、当クラブからは23名の参加がありました。

澤田大阪船場RC会長に続き、Alan Tan シンガポールRC会長の挨拶のあと、全会員の紹介、また8時頃からは、小島会員らのギター演奏も加わり、和やかなムードのなか歓談。新川会長エレクトの中締めで再会を約束し、盛会のうちに閉会となりました。

【シンガポールRC歓迎会への挨拶文】



シンガポールRCの皆様、ようこそ大阪船場RCにお越し下さいました！

貴クラブとは、1996年10月に姉妹クラブとして提携して以来早、19年になります。

当時私もその式典に参加致しましたが、歴史があり、国際的にも立派な活動を行っておられる素晴らしいクラブであると思いました。

19年の歴史の中でお互いに姉妹クラブとして友好を深めて参りましたが、これからもより一層、ロータリーの活動を通じて、発展して行きたいと願っていますので、今後共宜しくお願い致します。



Hello Lady's and Gentleman

welcome to Singapore Rotary club and Rotarian everybody to Osaka Semba Rotary Club.

We have had partnership with your club as a sister club since October 1996.

It has been 19years ago.

I had attended starting ceremony at that time.

I though that your club had long history and doing international activity well.

We are doing deeply friendship each others during history of 19 years. We hope we will become development and progress through Rotary activity in a future

Please enjoy and relaxes in Osaka. Thank you



☆次回11月30日(月)例会予定

・職業奉仕卓話:俣野会員・伊藤会員